

令和4年8月31日

令和4年度 JCHO 秋田病院地域協議会議事録

(日時) 令和4年8月17日(水) 18:30 ~ 19:30

(場所) JCHO 秋田病院 健康管理センター 大ホール

(出席者) 永井委員 田村委員 楊委員 石川委員 渡部委員
伊藤委員 太田原委員 加藤委員 小笠原委員 薩摩委員
小林委員 大友委員 大谷委員 大塚委員 三浦委員
安田委員 櫻井委員 船越委員 米川委員 工藤委員

(事務局) 加藤看護師長 安藤主任 MSW 小野 MSW

(欠席者) 森田委員 金子委員

- (議案)
1. 令和3年度 JCHO 秋田病院事業概況及び令和4年度計画について
 2. 当院における整形外科手術の推移について
 3. 新型コロナウイルス感染患者受入れ ～多職種による関わり～
 4. 秋田病院に対するニーズについて

司会 安藤

ただいまより、令和4年度独立行政法人地域医療機能推進機構秋田病院地域協議会を開催いたします。この地域協議会は独立行政法人地域医療機能推進機構法第二十条で設置することが義務付けられておりまして、当院では、本日の協議会の他、分科会を年2回、計3回の開催となっています。この目的は、施設の運営にあたり、広く利用者その他の関係者の皆さまのご意見をお聴きし、当地域の実情に応じた運営に努めるためでございます。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響にて本協議会の開催が書面開催となっています。本日はよろしくお願ひ申し上げます。

議事に入ります前に、今年度は任期更新がございました。皆さまこれから2年間の任期よろしくお願ひ申し上げます。本日の出席状況ですが、山本郡三町連絡協議会会長の森田新一郎八峰町長及び当院金子副院長が所要のため欠席となっております。尚、本日能代市長齊藤委員の代理として能代市健康づくり課与齊課長が出席予定でしたが、急遽欠席となっております。能代山本広域市町村圏組合消防本部消防長高杉委員の代理として伊藤救急課長にご出席いただいております。よろしくお願ひします。それでは、皆さまから簡単に自己紹介をお願いします。楊委員から石川委員の右回りの順番でお願いします

各々、自己紹介

委員長選出

司会

それでは、議事に入ります前に規定第5条に則り、委員長の選出に入りたいと思います。如何致しましょうか。

小笠原委員

能代市山本郡医師会会長の楊先生にお願いしたら如何でしょうか。

(異議なし)

司会

楊委員とのご推薦がございました。異議なしということで楊委員よろしくお願ひ申し上げます。

副委員長選出

司会

副委員長は委員長が指名することとなっておりますので、楊委員長ご指名をお願いいたします。

楊委員

医師会副会長の石川委員にお願いいたします。

(異議なし)

司会

石川委員よろしくお願ひ申し上げます。

それでは、規定第6条により議長は委員長が務めるとなっておりますので、楊委員は議長席の方へよろしくお願ひ申し上げます。

資格審査報告・議事録署名人指名

楊議長

新型コロナ感染が増加傾向にありまして、ここにコロナ対策に関係しております方々が一堂に会しております。保健所、自治体、三病院、医師会で力を合わせて、感染症と闘ってまいりたいと思いますので、どうかよろしくお願ひいたします。

それでは、スムーズな進行に努めてまいりたいと思いますので、どうぞご協力をよろしくお願ひ申し上げます。それでは、事務局より資格審査報告お願ひします。

事務局

本協議会は、委員25名中22名の出席により協議会は成立していることをご報告致します。

楊議長

それでは、規定により議事録を作成し保存及びホームページにて公開することとなっております。議事録署名人を薩摩委員と小笠原委員にお願ひ致したいのかもしれませんが如何でしょうか。

(異議なし)

それでは議事に入ります。本日の議事は4つとなっております。

一つ目の、『令和3年度JCHO秋田病院事業概況及び令和4年度計画』について、三浦委員お願ひします。

三浦委員

- ・令和3年度JCHO秋田病院事業概況
- ・令和4年度計画

(資料参照 P7～22)

楊議長

ありがとうございました。それでは、続きまして二つ目の、『当院における整形外科手術の推移』について、大塚委員お願いします。

大塚委員

- ・当院における整形外科手術の推移

(資料参照 P23～25)

楊議長

ありがとうございました。それでは三つ目の、『新型コロナウイルス感染患者受入れ ～多職種による関わり～』について、船越委員お願いします。

船越委員

- ・新型コロナウイルス感染患者受入れについて

(資料参照 P26～32)

加藤師長

- ・コロナ病棟の実際

(資料参照 P33～36)

楊議長

ありがとうございました。

それでは、以上の報告も踏まえ最後の議案は、『秋田病院に対するニーズ』についてとなります。様々なご意見等ございましたら、話していただけたらと思います。

能代山本地区では、非常に緊密な連携が取れており、感染の対応が上手くできていると感じています。

1人90代の女性で健康観察をしている方がおりますが、ご家族が非常に熱心な方で、娘さんが陽性となり、2人で自宅療養しております。もうそろそろ自宅療養期間が終わる頃となります。医師会の方でも一丸となって励んでいる状況です。

永井委員何かございませんか。

永井委員

JCHO 秋田病院、能代厚生医療センターには、患者さんを引き受けていただき、大変やりやすい地域であると感じています。また、医師会の先生方には、自宅療養の方のフォローアップや初期対応をしていただいております。とてもありがたいと感じております。陽性者はまだ増え続けており、明日は2,000人も超えるのではないかと見込まれております。引き続き、緊張感

を持って対応してまいりたいと思いますので、よろしく申し上げます。

大塚委員

大谷委員、母親の立場としてどうでしょうか。

大谷委員

先月夫がコロナにかかり、療養所へ行き、移らないようにと対策をしていましたが、自分自身がコロナにかかりました。高校生の子供、小学生の子供、と次々移り、散々な目に遭ってしまいました。しかし、対策を続け、後期高齢の両親には移すことなく、療養期間を終えました。当時を思い返し、医師たちはより大変な思いをしているのだと、ありがたい、と話を聞いて感じました。

住民の立場としては、自宅で「こういったことをしたら、喉が楽になった」等を、友人と共有しました。また、両親から、家族がコロナにかかったということが恥ずかしく周りに言えない、と話されました。「こうやって移さないように頑張ったし、友人にもこうしたら移らなかった」と話してみたらどうか、等といったことを家族内で話し合いました。

楊議長

貴重な体験談を話していただき、ありがとうございました。

太田原委員

辛い思いをされた、というところで、当院でもコロナの時代になって間もない頃、職員が誹謗中傷を受けました。県の方でも、誹謗中傷をしないようにとコマーシャルや様々なキャンペーンを行い、自分自身でも抗議もしていました。3年経った今でも、職員がコロナに感染した人や、自宅待機の人が職場に復帰した際に「迷惑をかけてすみませんでした」と言う状況になっています。今はもう誰が感染してもおかしくない状況ではありますが、世間では嫌な目で見られてしまいます。その中で、病院の職員も様々な思いを抱えて働いていることを分かってほしいと思っています。

今は、社会の関心が「自分が感染したらどうしよう」「感染した際に重症化したらどうしよう」という部分に集まっているように感じます。その不安の一方で、この地域でも感染者は急増しています。残念ではありますが、誰でも入院を引き受けられる状況ではありません。自宅で療養している方も本当に心配だとは思いますが、自宅で療養してもらわなければならない方も大勢いらっしゃいますし、病院へ入院したいと話しても「あなたは宿泊療養にまわってください」とお願いしなければならない場合もあります。どうしても入院での管理が必要な方を入院させる、いかに病床を有効に活用するか、ということを考えています。大塚委員とも情報交換をしながら、この地域を助けるにはどうするか、ということをお話していますし、何より感染チームの皆さんと頻りに連絡を取り合っています。また、今は秋田市の病床もかなり厳し

いものとなっており、当院やJCHO 秋田病院で受入れができない方を、簡単に秋田市へお願いする、ということも困難な状況です。地域の皆さんも不安に感じていると思いますが、私たち医療従事者の立場から、入院の適応はないです、と話さなければならないこともあります。今日この場に、病院の利用者の代表の方々もいらっしゃるので紹介致しました。

楊議長

ありがとうございました。

加藤委員、病院でのクラスターの件も含め、ご意見をお聞かせ願います。

加藤委員

医師会病院では、4月末で54人のクラスターを出し、3週間入院も受け入れられず、外来もなしという厳しい状況となっていました。県のチームが来て、指導してくださいました。感染した患者さんもJCHO 秋田病院や能代厚生医療センターで引き受けてもらい、何とか乗り切り、5月10日に終息宣言を出すことができました。今は通常の診療ができていますが、最近また職員で感染者も出ておりますので、クラスターとならないよう細心の注意を払って対策してきます。今のBA・5はかなり強い感染力を持っており、家族に出れば、家族全員がかかると思って対応しなければならないと思います。そうすると、職場に出られるスタッフが段々と減り、医療機関も非常に厳しい状況になっていると思います。JCHO 秋田病院の話聞き、もう少しベッド数を増やす、ということはどうでしょうか。

大塚委員

ベッド数を増やし、入院患者の受入れを多くする、というところも安心材料にはなるかもしれないと思いますが、その時期はもう過ぎたのだと私は思っています。今のBA・5にしても、感染力は強く、一時期高熱は出る人はいるが、それがものによっては肺炎になることはない等、経過について様々なことが分かってきており、自宅療養でも問題ない状態になってきていると感じています。もう間もなく、2類から5類相当となり、今後このような騒ぎになることは少なくなっていくのだと思っておりますので、当院や能代厚生医療センターで行っていくべきことは、入院しなければいけない患者さんをしっかり見極めることだと思っております。

1番初めにコロナが上陸した際、日本赤十字が怖いのはコロナではなく、間違った知識であると宣言したことがある。今、これだけ感染が拡大している中ではあるが、コロナそのものを恐れるのではなく、コロナに追われてしまっている自身たちの心や忙しさからイライラすることで保たれていた絆が切れていくことの方が非常に怖いことだと思っております。職員たちへも話していますし、電話対応で嫌な思いをした、ということがあった際には私自らが電話で話したりもします。今はまず、ベッド数を増やすということよりかは、医師会や保健所と協力しながら、その協力の輪が切れぬように力を入れていきたいと考えています。

楊議長

ありがとうございました。

消防の方では、何か救急対応で困ったこと等はないでしょうか

伊藤委員

当管内では、比較的全国でニュースになっているような搬送困難という事例は非常に少ないと感じています。今まで通り、病院で対応できる体制を確保していただければ、我々は搬送に力を入れる覚悟があります。やはり1か月ほど前からこのBA-5で搬送の数は増えておりますので、どうか今後ともよろしく申し上げます。

楊議長

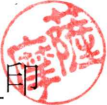
ありがとうございます。

いろいろ貴重なご意見が出されましたけれど、だいたいお時間となりました。コロナ感染対応は今しばらく続くようですが、秋田病院には、地域協議会の開催趣旨にあります地域の要望の拾い上げとその実現をお願い致しまして、令和4年度地域協議会を閉じたいと思います。本日はお疲れ様でございました。

19時30分終了

令和4年8月31日

議 長 殿

議事録署名人 薩摩博 

議事録署名人 小笠原達志 